

スポーツ

かわさき

No. 35

— 目 次 —

- 平成5年度第2回評議員会
ならびに理事会開かれる ②
- 市体協スポーツ指導者海外研修会 ③
- 平成5年度秋季市民大会報告 ④
- 第8回川崎市家庭婦人テニス大会 ④
- 48回国体で市内中学出身者大活躍(ハンド)⑤
- スポーツ心理学講座〔Ⅱ〕 ⑥
- はつらつ体育の日レポート ⑧
- 第8回川崎市民マラソン大会開かれる ⑩
- 市長杯争奪ボウリング選手権大会 ⑩
- 小林完一さん川崎市スポーツ賞を受賞 ⑩
- いざ、に備えて 救急法講習会 ⑩
- かながわ・ゆめ国体 — 愛称・標語等 ⑫

財団法人 川崎市体育協会

予算補正を中心として 平成5年度 第2回評議員会 第2回理事会開かれる 11月12日 11月16日

財団法人川崎市体育協会の平成5年度予算については、既に昨年6月に開かれた第1回評議員会ならびに理事会で決定されておりましたが、その後の経過で予算補正をなすべき事項が出て参りましたため、協会では去る平成5年11月に第2回評議員会および理事会を開いて予算補正を含む諸案について審議を行いました。

予算の補正について

11月12日(金)幸スポーツセンター研修室で行われた評議員会では、第1号議案として本年度予算の補正について提案がなされましたが、これは本年度、川崎市ゴルフ協会が体協に加盟したための加盟負担金の増加、市民マラソン大会の参加者の増、そしてまた市民アルプス登山の参加者増に伴う増収、親子白銀スキーへの参加者の減少等、当初予算と比してかなりの変動があったための予算組み替えでありました。このうちゴルフ協会の加盟金は体育協会の基本財産となるため、その承認を得ることが必要となる訳であります。

第2号議案として審議されたのは、平成5年度体育協会評議員の年度途中の変更について。

第3号議案 平成5年度指導者海外派遣研修について。本年度は長谷川理事(水泳協会)、川島理事(野球協会)、上野理事(剣道協会)の三氏を姉妹都市オーストラリア・ウーロンゴン市へ派遣することに決めました。

ヴェルディ川崎市民の会への入会についての第4号議案、そして平成6年度評議員の選出についての第5号議案等5つの案件について、出席全員の賛成で承認いただきました。

因みに定足数32名のうち出席者は25名(委任状を含む)、議長は斉藤義晴氏(ボウリング協会)、議事録署名人は禰覇朝明(バスケット協会)と高瀬健二(テニス協会)の2氏でした。

評議員会ではこの後、次のような経過報告その他がなされ終了しました。

1. 平成5年度競技力向上事業について(依頼)

- 平成6年度「選手強化事業計画」等の提出について
- 平成5年度(財)川崎市体育協会賛助会費について(後述)
- 川崎市スポーツ少年団本部規約について
- 報告
 - 公益法人事業実施状況等監査について
 - 委託金の銀行振込みについて
 - 合気道連盟法人化基金について
 - サッカースタジアム建設署名について
 - 川崎市長へ平成6年度体育協会への事業補助金の要望について
 - 川崎市生涯スポーツ振興基本構想の送付について
 - 第53回国民体育大会・秋季大会の開催地内定について
 - イ 川崎市制70周年記念事業実行委員会への参画について
ロ 総合体育館オープンイヤーイベント検討について
 - 短期市民水泳教室について
 - 第19回学童泳力記録会について

理事会も全員一致で可決承認

続いて体育協会理事会は11月16日に開かれましたが、議事内容はすべて評議員会と同じもので資料に沿って諮られました。全員一致で可決承認されました。

川崎市体育協会 賛助会員 順調に伸び

市民体育の振興を円滑かつ、市民の皆さんの要望をより広く反映した形で展開して行くためご協力を頂いております「賛助会員」は順調に推移しておりまして、おかげをもちまして12月末日現在、個人会員数457名、会費額1,035千円、団体会員数74団体、会費額99万円となり、合計総額2,025,000円に達しました。引続き会員増強にご協力賜りますようお願い致します。

＝スポーツ指導者海外研修＝

ウーロンゴン市のスポーツ施設見聞記

上野 富夫
長谷川 武雄
川島 哲男

ウーロンゴン市はオーストラリアの東部海岸、シドニーから南へ約80kmに位置し、海、山、湖と豊かな自然環境に恵まれた大変美しい街である。

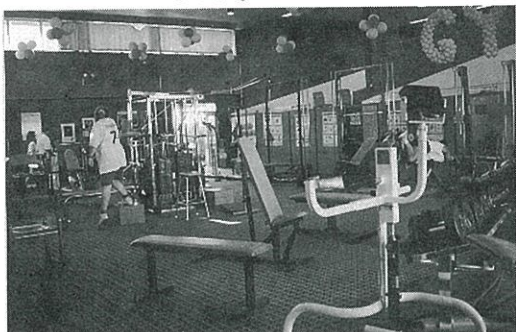
ウーロンゴン市長と



オーストラリア人は大のスポーツ好き。ここウーロンゴンでも、週末には緑の絨毯を敷きつめたような見事な芝生の広場のあちらこちらで、クリケットやフットボール、テニスをする人、また海やプールではサーフィンや水泳を楽しむ人で賑わっている。市街地のスポーツ施設も充実していて、市民が誰でも気軽に利用できるシステムになっている。

私達が訪れたのは市営のビートンパーク総合体育施設、コンチネンタルプール、野球場である。

総合体育施設は体育館、温水プール、陸上競技場(公認)、テニスコート(10面)からなっているが、体育館で特に注目されたのがウェイトトレーニングルームであった。



ここには専属のトレーナーが常駐し、各人に合ったプログラムを組んで指導をしてきており、最新鋭の器具20数種類が自由に利用できるようになっている。各施設の利用料は1日2A\$ (小児は半

額)、年間利用者数は約5千人とのこと。陸上競技場のトラックも素晴らしいものであった。オリンピック級選手の練習場ともなってもいるということである。



コンチネンタルプールは、海岸の岩場を

利用して造られた塩水プールで、朝早くから老幼男女が思い思いに泳いでいる。プールは上級者用と初心者用の2面に分かれており、過去にはオリンピック選手を輩出したこともある名門プールである。市内にはクラブチームが4～5あり、毎週

コンチネンタルプールにて



金曜日に合同練習をしているとのことである。驚くのはロッカーやシャワー室完備で使用料無料とのこと。さすがは海洋王国というべき感である。

野球場は、車で30分ほどの郊外にある総合グラウンドの一角にあり、内・外野とも芝生であるが、あまり利用されている様子もなく、整備も整っているとは言い難いところ。市内にはクラブチームが4つあり、その優勝チームがシドニーでの地区大会に出場できるとのこと。私達が訪れた時、たまたま小学生が練習をしていたが、レベルはあまり高くなかった。実にノンビリとした練習ぶりはお国柄なのだろうか。ウーロンゴン市では野球はまだマイナースポーツで、クリケットの方に人気が集まっている様子である。野球場の使用料は時間はフリーで20A\$とのこと。

ともあれ、ウーロンゴン市は人口18万人余の小さな街ながら、市内の至る所に芝生を敷きつめた広場があり、市民の誰もが自由にいつでも使える、羨ましい程にスポーツ環境の整った街であった。

注: 1A\$(オーストラリアドル)=80~90円 (川島哲夫記)

平成5年度

秋季市民大会

さわやかな秋空の下、恒例の市民秋季スポーツ大会が市内各会場で行われました。10月から11月にかけて市内はまさにスポーツの花盛り。その中の幾つかの記録をご紹介します。

秋季市民バレーボール大会

10月17日・24日・11月3日

於 川崎高・橘高・東芝小向・旭化成体育館

○高校男子の部 参加30チーム

決勝 橘 A 2-0 桐光A

○高校女子の部 参加30チーム

決勝 橘 B 2-0 橘 A

○一般9人制

男子1部 参加17チーム

決勝 東芝玉川 2-0 NEC玉川

男子2部 参加18チーム

決勝 味の素 2-1 オール東燃

女子の部 参加14チーム

決勝 ミリンダ 2-0 北斗クラブ

○一般6人制

男子の部 参加34チーム

決勝 富士通A 2-0 富士通B

女子の部 参加16チーム

決勝 SHUHARI 2-0 川崎

ブライデーズ

秋季市民剣道大会

11月23日 於松下電器(株)東京体育館

○男子3級の部 優勝 平中 遠藤謙太

準優勝 宮警剣 近澤慎哉

○男子2級の部 優勝 浅田剣 岩谷和樹

準優勝 長沢中 鎌手宣行

○男子1級の部 優勝 明倫館 戸波 俊

準優勝 橘 中 井下康裕

○男子初・2段の部 優勝 星武館 小宮義実

準優勝 稲田中 栗田法正

○男子3～5段の部 優勝 養心館 田中 浩

準優勝 御 幸 高木裕史

○女子3級の部 優勝 宮田道場 鈴木智美

準優勝 玉川中 秋元宏美

○女子2級の部 優勝 宮田道場 関口かおり

準優勝 玉川中 西田仁美

○女子1級の部 優勝 玉川中 溝口淑子

準優勝 洗足学園 仙北谷ふみ

○女子初段の部 優勝 橘 中 鷹箸里沙

準優勝 日女高 上田まゆら

○女子2～4段の部 優勝 橘 高 塘地尚子

準優勝 宮田道場 関口さち子



第8回川崎市家庭婦人テニス大会

10月19日～22日(4日間)

家庭婦人テニス大会も回を重ねるごとに参加者の数が増し、本年度も等々力庭球場に於て盛會にプレーを楽しみました。各組の成績は下記の通り

A組 優勝 和田・松村組
 準優勝 杉本・淡輪組
 第3位 松本・吉沢組
 " 成田・野上組

B組 優勝 上条・林組
 準優勝 曾宮・浅井組
 第3位 井野・マックランド組
 " 西村・岩沢組

C組 優勝 小島・須藤組
 準優勝 石井・久保田組
 第3位 西平・山内組
 " 野中・野沢組

D組 優勝 上野・菅原組
 準優勝 藪崎・樋口組
 第3位 本庄・上田組
 " 並木・喜多組

秋季市民ハンドボール大会開かれる

1993.8.23~11.14

平成5年度川崎市秋季市民ハンドボール大会が8月の高校生の部をかわきりに一般の部、中学生の部と11月まで開催されました。

結果は次の通りです。

☆ 高校の部

期日：8月23,24,25日

会場：県立川崎北高校グラウンド

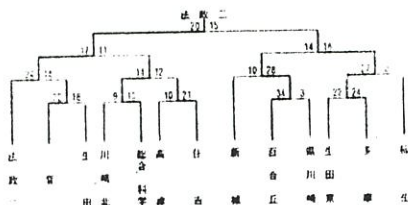
男子

優勝 法政二高

2位 県多摩高

3位 市総科高

同 百合丘高



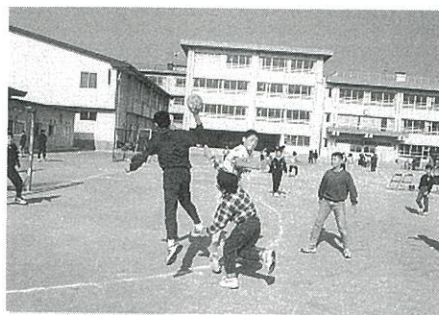
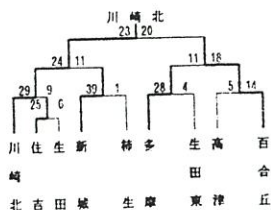
女子

優勝 川崎北高

2位 百合丘高

3位 県多摩高

同 県新城高



小学生ハンド練習会

☆ 一般の部

期日：9月26, 10月3日

会場：法政二高グラウンド

◇ 男子 (参加チーム 11)

優勝 多摩クラブ

2位 新城クラブ

3位 河田クラブ

同 高津クラブ

◇ 女子 (参加チーム 2)

優勝 プリティクラブ

2位 新城クラブ

☆ 中学の部

期日：10月31, 11月3, 7, 14日

会場：西中原中学、玉川中学グラウンド

◇ 男子 (参加チーム 20)

優勝 向丘中 2位 南生田中

3位 宮内中 同 柝形中

◇ 女子 (参加チーム 8)

優勝 宮内中 2位 西中原中

3位 宮前平中学 同 向丘中

第48回国体ハンドボール

少年男子の部 (準優勝) で 市内中学出身者が大活躍

平成5年10月25日から10月28日にわたり、香川県で開催された第48回国民体育大会(東四国国体)ハンドボール競技少年男子の部(準優勝)で、川崎市出身の選手が大活躍をしました。

神奈川選抜チームのうち、阿部展行・植松伸之介・黒沢明仁・小見山忠嘉君が市立西中原中学、高橋博光君が向丘中学、小林真也君が宮内中学の出身者で、中学生時代から市内の大会で中心的な働きをして来ました。現在はそれぞれ横浜商工高校や桐光学園高校に所属し、そのチ



ームから選抜されました。

試合の結果は、準決勝 神奈川27-22大分 決勝 神奈川22-福岡25でした。

試合で実力を 発揮するために(2)

順天堂大学スポーツ健康科学部
助教授 中島宣行

今回は動機づけの水準と競技成績(パフォーマンスとの関係が直線的な関係ではなく、逆U字型の関係にある)について説明しました。即ち、動機づけの水準はあまり低すぎても高すぎても良い結果は得られず、中程度の水準の時に最も良い結果を得ることができると言われています。ベテランの監督やコーチの人達は、そのへんの処を心得ていて、試合後のインタビューなどを聞くと、実に素晴らしいアドバイスを各選手に与えています。

そして、このような関係は、課題の困難度や課題の特質、さらには個人のパーソナリティなども影響しており、動機づけの水準は中程度がベストであるといっても、そのレベルは試合の重要度、スポーツ種目、各選手によって大きく異なります。

今回は、各選手にとっての最適動機づけ水準、緊張状態の把握の仕方についてお話することにします。

T S M I

日本体育協会スポーツ科学委員会研究プロジェクトチーム「スポーツ選手の心理的適性に関する研究班」が昭和54年から57年の3年間にかけて開発したT S M I (Taikyō Sport Motivation Inventory: 体協競技意欲テスト)は、スポーツ選手の動機、やる気、意欲をできるだけ広い範囲にわたって、しかも競技の状況に応じた形で測定することにより、選手の競技に対する動機づけの水準を総合的に評価・診断しコーチングの際の参考資料として役立たせようとしています。

各選手の日頃の動機づけの水準をこのT S M Iで総合的に捉えることが最初のステップになります。しかしながら、T S M Iの結果は固定的なもの

ではなく、常に変化する可能性がありますので一年に1回、シーズンに入る前あたりに定期的に実施しておく、全体的に良い方向に変化しているのか、悪い方向に変化しているのかを縦断的に捉えることができ、指導する際により有効なデータとなるでしょう。

このテストは以下に示すような内容の17の尺度から構成されています。

T S M Iの尺度構成

- 1 目標への挑戦
自分で立てた目標や自己の限界に積極的に挑戦する傾向を測定しようとする尺度
- 2 技術向上意欲
技術の向上を目指して積極的、持続的に努力を続けようとする傾向に関する尺度
- 3 困難の克服
競技において、困難な場面に遭遇した時、くじけずにそれを克服しようとする傾向に係わる尺度
- 4 練習意欲
練習が好きであるかどうか、意欲的かつ持続的に練習できるかどうかについての尺度
- 5 情緒安定性
試合場面で、落ち着いて冷静な判断が下せるかどうかという側面との係わりが深い尺度
- 6 精神的強靭さ
不利な状況、競り合いなどにおいて、精神的な強さを発揮できるかどうかに関する尺度
- 7 闘志
大試合や不利な状況、競り合いの場面で闘志が強いか弱いかに関する尺度
- 8 競技価値観
自分が行っている競技が自分にとって価値あるものと考えているかどうかについての尺度
- 9 計画性
試合の仕方や練習について、見通しを持って計画を立てられるかどうかについての尺度
- 10 努力への因果帰属
試合での成功や、技術の向上が自分の努

力の結果であると考える傾向についての尺度

- 11 知的興味
競技やスポーツに関する知的な情報に関心を向けるか否かについての尺度
- 12 勝利志向性
競技においては、勝つことに意味があるのだと考える傾向を示す尺度
- 13 コーチ受容
コーチに対する信頼感やコーチの指示への従順さに関する尺度
- 14 IAC
コーチとの人間関係がどの程度うまくいっているかないか、その程度を示す尺度
- 15 失敗不安
試合で負けるのではないかと、失敗するのではないかという恐れから、不安を持ちやすい傾向についての尺度
- 16 緊張性不安
試合場面、あるいは観衆の存在など、ストレスの強い緊張場面において、情動的緊張が高まる傾向を測る尺度
- 17 不節性
試合や練習を中心とする生活習慣がきちんとしているか否かについての尺度

実施方法

T S M I は質問表と回答用紙の2枚で1組です。質問用紙には、表紙に回答上の注意があり、中には1ページに25項目ずつ6ページにわたって合計146の質問項目が印刷してあります。回答用紙の片面はいわゆるフェイスシートであり、氏名や競

技名、ポジション、過去の競技成績などを記入します。もう片面は各項目毎に、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」のいずれかの該当する部分を塗りつぶす回答欄になっています。

実施上の注意としては、日常使い慣れた場所で、静かな環境の中で実施する。なるべく練習の直前や直後は避け、時間的に余裕のある時に行う。検査者が質問項目を読み上げてゆく「強制速度法」で行う。検査者は被検者(選手)を指導している監督やコーチが行わず、全く無関係の人間が実施する。などがあります。

結果の解釈

採点と解釈はコンピュータ処理でなされますので手計算による煩わしい計算作業は一切必要としません。

図1のような形式で返却されてきますので、指導者は、この結果を各選手の指導に活用することになります。

The image shows a computer-processed result sheet for TSMI. At the top, it says 'T S M I 日本体育協会'. Below that is a header table with fields for name, sex, age, date, and event. The main part is a 'プロフィール' (Profile) table with 17 items, each with a score from 1 to 7. To the right is a '結果の解釈' (Interpretation) section with numbered points (1-17) explaining the scores. At the bottom right, there is a small copyright notice: 'NOT COPY TAKKI KIKI KOOGY CO. LTD.'

図1 コンピューター処理によるTSMIの採点結果とその解釈

はつらつ体育の日！

スポーツ 満開

快晴に恵まれた10月10日(体育の日)、この年もまた市内各地は多彩な行事で賑いました。ことに平成10年神奈川県国体開催記念と銘打たれた「'93かわさきヘルシーウォーク」には市民811名が参加、多摩川コース20kmをはじめとして長尾の里コース5.5kmなど、合計5つのコースに分かれて爽やかな汗を楽しみました。



朝の受け付け



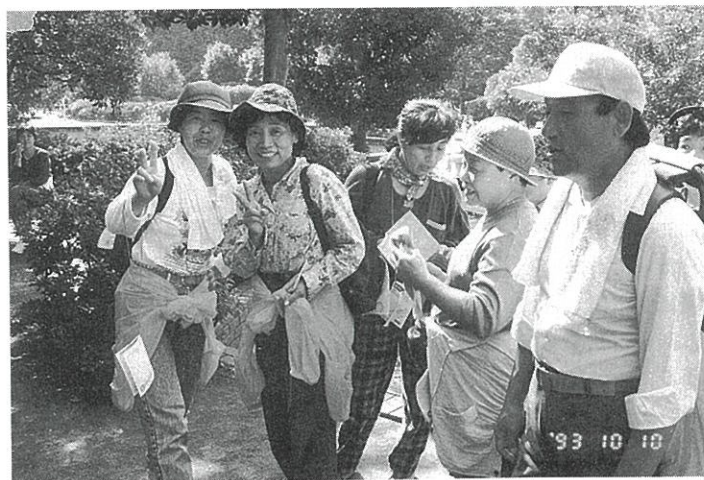
等々力緑地では朝9時30分から親子ふれあいゲートボール大会も開かれ、おじいちゃんとお孫さんの競技する姿も見られ、つい微笑んでしまいました。

スポーツからスマイルを！

昭和42年から始まった体育の日の記念行事、今ではすっかり川崎市民の間に根をおろし、りきまず、無理せず、子どもから高齢者まで、だれにでも行える新しい種目も増え、みんなで健康を楽しむようになっています。



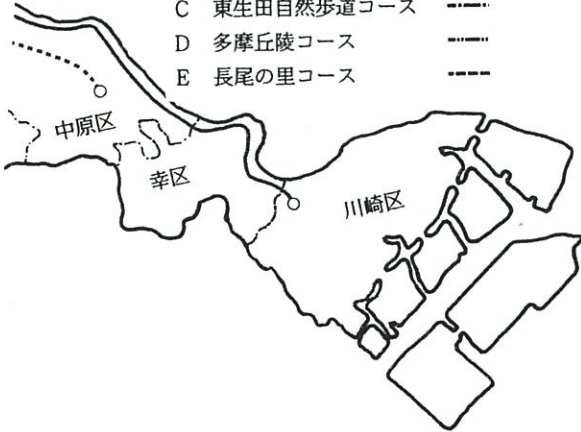
歩き終ってホッ！とスマイル



'93 かわさきヘルシーウォークや 親子ふれあいゲートボール大会も

(表紙写真)

- A 多摩川コース ———
- B ニケ領用水コース
- C 東生田自然歩道コース - - - -
- D 多摩丘陵コース - - - -
- E 長尾の里コース - - - -



こちらは大公望大会



お父さんたちとラグビー試合



少女達もサッカー



将来が楽しみな若者達



激走・快走・楽走、そしてふれあい！

第8回川崎市民マラソン大会開かれる

1993年(平成5年)11月21日(日)、晩秋の多摩川沿いを走る市民マラソン大会が開かれました。回を重ねること今回で8回目と、市民行事としても、すっかり定着してきた感があります。参加者も年々増え、今回も20キロコースに615人、10キロコースに1700人の参加申込みがありました。当日は、前夜からの激しい雨が早朝8時ごろまで降り続いたことも影響したのか、例年より若干少ない出場者数となりました。老いも若きも、男も女も、号砲一発、元気良く雨上がりの多摩沿線に飛び出していきました。

また、今回は目の不自由なランナーや養護学校の生徒が初めて参加するなど、“市民の誰でもが走れる大会”としての位置づけが一段と増してまいりました。

激しくトップ争いをするランナー、自分のペースを崩さずにひた走るランナー、そしてゴール後の一杯のビールを楽しみにして走るランナーなど、それぞれの思いを脚に刻んで駆け抜けていました。そしてゴールした後は、走りきった者だけが持つ連帯の輪が競技場のあちこちに広がっていました。

しかしながら、この市民マラソン大会が今後ますます発展して行くようにするために、あえて苦言を述べてみたいと思います。それは、第1に記録面でのレベルが低いことです。20キロの部の最高タイムが65分台であり、10キロの部でも31分台と、このコースが平坦なことを考えると、物足りなさを感じざるを得ません。次に、20歳台のランナーや高校生ランナーの参加が少ないことが挙げられます。中高年齢者の参加に比べて非常に寂しい気がします。川崎市内には、実業団の有力チームや箱根駅伝に出場している大学、県高校陸上界有数の学校などもあるので、これらのランナーも参加させるように、あるいは参加できるように、今後大会日程を含めて、より魅力ある大会づくりに向かって検討していく必要があると思います。



種目別優勝者は次のとおりでした。

*20キロの部

35歳以下の男子

菅野 泰正(日体大) 1 : 05 : 56

36~49歳男子

横尾 和夫(ハートブレイク) 1 : 10 : 40

50歳以上男子

千田 剛(コマツ) 1 : 15 : 42

一般女子

篠原加津美(NEC) 1 : 22 : 31

*10キロの部

高校生女子

板野 杏子(生田高校) 39 : 47

高校生男子

栗飯原啓二(菅 高校) 32 : 47

35歳以下男子

藤根 友広(Team-UP) 33 : 03

36~49歳男子

星野 政信(川崎市役所) 33 : 23

50歳以上男子

石井 秀夫(NKK) 35 : 17

35歳以下女子

平山 千春(日女体大) 40 : 16

36~49歳女子

竹之内明子(町田いだてんクラブ) 38 : 42

50歳以上女子

渡辺 ノブ(京浜精機JC) 45 : 15



川崎市ボウリング協会の主催、(財)川崎市体協、神奈川新聞社ボウリング協会支部後援による川崎市長杯争奪ボウリング大会が11月3日、「よみうりボウル」で開催されました。これは“社会福祉の一助に”との会員の熱い願いをこめて行われたチャリティー大会で、今回で21回を迎えたものです。ボウラー団体、ボウリング協会、職域の選抜選手をはじめ市内在住のトップボウラー150名が集い、ボウラー川崎1を目指して熱戦を繰り広げました。チャリティー基金の10万円は市民生局庶務課を通して社会福祉に役立てられます。

☆4人チーム戦の部(カッコ内は所属チームです)

優勝	(ムサシボウル)	4,992点
準優勝	(よみうりボウル)	4,915点
第三位	(ABBF A)	4,778点

☆男子一般の部

優勝	西川 薫 (ムサシ)	1,971点
準優勝	平野 琢磨 (よみうり)	1,888点
第三位	坂口 淳一 (川崎A)	1,847点

☆男子シニアの部

優勝	須賀 寅吉 (川崎グランド)	1,876点
準優勝	国東 健 (川崎京急)	1,832点
第三位	松浦 国弘 (ABBF)	1,809点

☆女子の部

優勝	寺崎 照代 (ムサシ)	1,813点
準優勝	石川恵美子 (よみうり)	1,768点
第三位	大久保ひで (JBC社会人)	1,715点

☆ハイゲーム

○男子一般の部	吉永 亮(NBFよみうり)	290点
○男子シニアの部	今野春志(川崎京急)	247点
○女子の部	寺崎照代 (ムサシ)	249点

☆ハイシリーズ

○男子一般の部	西川 薫 (ムサシ)	748点
○男子シニアの部	須賀寅吉(川崎グランド)	642点
○女子の部	寺崎昭代 (ムサシ)	658点



川崎市では毎年度、川崎市に於ける文化の向上、社会への貢献、顕著なスポーツ功績のあった個人団体等に対して、それぞれ川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞を授与して顕賞していますが、1993年度(平成5年度)

川崎市スポーツ賞が川崎市体育協会役員を務められた小林完一さん(84才)に与えられました。

小林完一さん (元市体育協会役員) 川崎市スポーツ賞を受賞

小林さんは、昭和27年に全国に先駆けて川崎市剣道連盟の結成に尽力され、その後40年間にわたり、剣道の発展と振興に中心的役割を果たされてきました。

また、昭和56年に市剣道連盟の会長に就任されると、指導者の育成や剣道を通しての青少年育成にも力を尽くされるとともに、市体育協会役員としても活躍され、市民スポーツの充実、発展にも大いに努められました。

小林さんは、現在長野県南安曇郡三郷村にお住まいで、今回の受賞をとっても喜ばれていらっしゃいました。

いざ、に備えて!

日本赤十字社救急法講習会のお知らせ

スポーツ活動中における事故を未然に防止し、併せて万一の時に必要な応急手当の知識と技術を習得する目的で上記の講習会を開催します。申込みと問合せは体育協会事務局へお早めどうぞ。

期間 平成6年3月19日から27日までの6日間

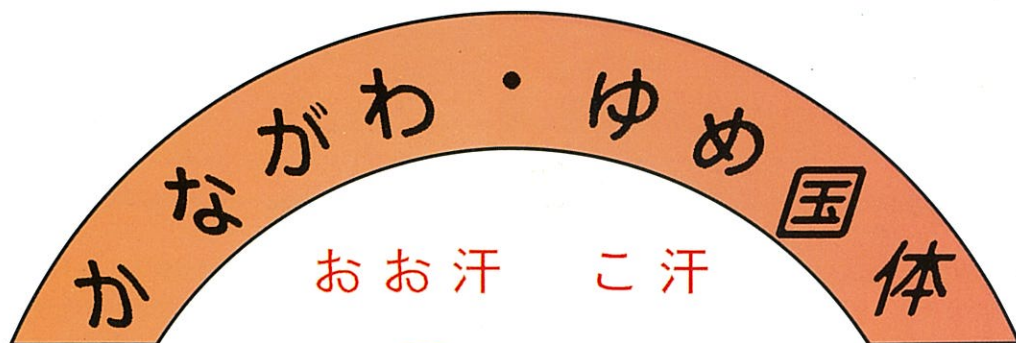
会場 川崎市青少年の家と川崎市中原市民館

時間 平日は18時00分から21時00分中原市民館
(土曜日 14時00分から21時00分まで)
(日曜日 9時00分から17時00分まで)は

川崎市青少年の家で。26・27日は宿泊

(但し3/21・22・24日は除く)

定員 40名限り(申込多数の場合は抽選)



平成10年(1998年)
神奈川に国体が
やってくる!



おしゃれでさわやか
神奈川によく似合う
素敵なスポーツの祭典

愛称『かながわ・ゆめ国体』

すべての人のかがやく未来への「ゆめ」と、誰もが健康でいきいきと暮せるスポーツレクリエーション社会の創造へむけた、かながわの21世紀への「ゆめ」を国体に託しています。

標語『おお汗 こ汗』

スポーツの原点である「汗」を強調し、一人ひとりがさまざまな汗をながして、いろいろな形で国体に参加することにより、実り豊かな国体を実現するよう、また、これらの活動を通じて、すべての人が健康でいきいきと暮せるようお願いをこめています。

シンボルマーク

あたたかな表情で未来に向かって走る人をイメージしたもので、マークの手足が長いのは、多くの夢をつかんで、生き、走り、跳ぶ様子を表し、黄金に輝く腕は何にでも挑戦できる元気でさわやかな人間を象徴しています。ゆるやかでのびのびとした姿は、スポーツの楽しさとともに未来への希望をかけた『かながわ・ゆめ国体』にふさわしいものとなっています。

平成10年(1998年)に神奈川県で開催される第53回国民体育大会に向けて、その「愛称」・「標語」・「シンボルマーク」も決定し、いよいよ本格的な準備が開始されました。

みんなが手をつなぎ、みんなが力をあわせ、みんながつくる、そんな「かながわ・ゆめ国体」にしていきましょう。

編集後記

◆神奈川県で最初の国体が開かれたのは昭和30年、いまや2巡目に入って4年後にまた国体がやってくる。この大会を成功させるため、わが体協の責務も益々重大になってこよう。ガンバロウ(S)

スポーツかわさき第35号

平成6年2月20日

— 発行 —

(財)川崎市体育協会 (電話 044-556-5511)

〒210 川崎市幸区戸手本町1-11-3

川崎市幸スポーツセンター内

編集 広報委員会

印刷 (株)第一サンエー(電話222-2356)

〒210 川崎市川崎区榎町3-9